

平成 1 1 年度 第 4 回
受注登録企業動向調査結果報告書

(平成 1 2 年 3 月末現在)

財団法人 京都府中小企業振興公社

1. 調査概要

(1) 調査目的

受注登録企業の受注動向等の実態を把握することにより、受発注取引あっせんをはじめとする下請企業振興事業の円滑化を図る。

(2) 調査対象企業

当社に登録している受注企業 300企業

業種別内訳（産業分類 中分類）

鉄鋼・非鉄関係	30企業	金属製品関係	45企業
一般機器関係	45企業	電気機器関係	45企業
輸送用機器関係	30企業	精密機器関係	30企業
縫製関係	45企業	樹脂製品関係	30企業

(3) 調査時点

平成12年3月31日現在

〔前回調査時点 平成11年12月31日〕

(4) 調査方法

調査票（別紙様式）の郵送によるアンケート方式

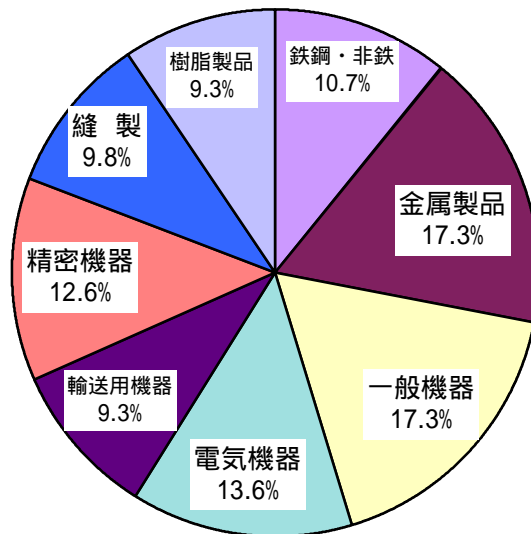
調査項目（受注量、受注量の見通し、受注単価、資金繰り、採算状況、受注余力）

(5) 回収状況

調査対象企業数	300企業		
回収企業	214企業		
内訳	鉄鋼・非鉄関係	23企業	(10.7%)
	金属製品関係	37企業	(17.3%)
	一般機器関係	37企業	(17.3%)
	電気機器関係	29企業	(13.6%)
	輸送用機器関係	20企業	(9.3%)
	精密機器関係	27企業	(12.6%)
	縫製関係	21企業	(9.8%)
	樹脂製品関係	20企業	(9.3%)
回収率	71.3%		

2. 回答企業の概要

(1) 業種別回答企業の内訳



(2) 業種別・資本金別回答企業数

(単位：社)

	全体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	縫製	樹脂製品
個人	20 9.3%	2 8.7%	1 2.7%	1 2.7%	2 6.9%	3 15.0%	1 3.7%	7 33.3%	3 15.0%
～300万円	18 8.4%	3 13.0%	2 5.4%	2 5.4%	2 6.9%	1 5.0%	1 3.7%	6 28.6%	1 5.0%
301～999万円	13 6.1%	1 4.3%	3 8.1%	1 2.7%	0 0.0%	2 10.0%	2 7.4%	1 4.8%	3 15.0%
1000～2000万円	123 57.5%	9 39.1%	25 67.6%	27 73.0%	22 75.9%	12 60.0%	12 44.4%	7 33.3%	9 45.0%
2001～5000万円	34 15.9%	7 30.4%	6 16.2%	6 16.2%	3 10.3%	2 10.0%	7 25.9%	0 0.0%	3 15.0%
5000万円超	6 2.8%	1 4.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 14.8%	0 0.0%	1 5.0%
合計	214 100%	23 100%	37 100%	37 100%	29 100%	20 100%	27 100%	21 100%	20 100%

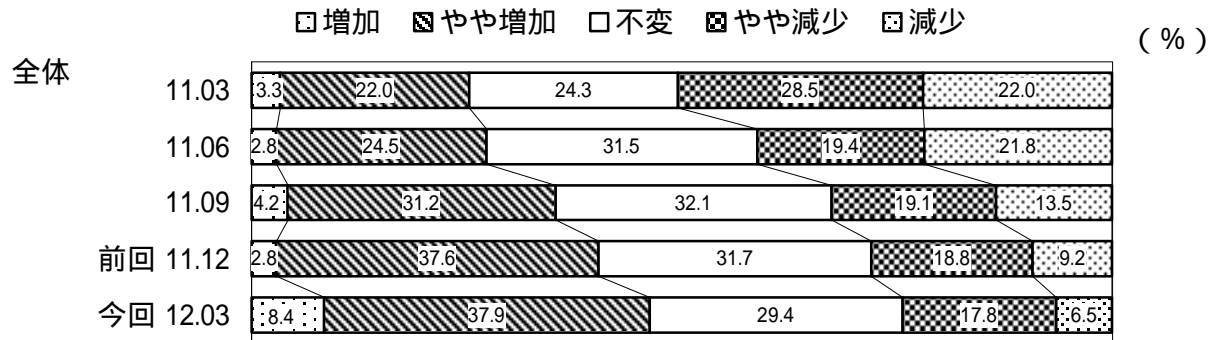
(3) 業種別・従業員別回答企業数

(単位：社)

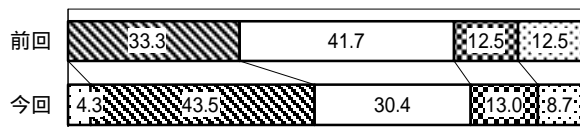
	全体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	縫製	樹脂製品
1～5人	30 14.0%	3 13.0%	1 2.7%	3 8.1%	2 6.9%	5 25.0%	3 11.1%	8 38.1%	5 25.0%
6～10人	47 22.0%	8 34.8%	8 21.6%	13 35.1%	3 10.3%	6 30.0%	3 11.1%	2 9.5%	4 20.0%
11～20人	54 25.2%	4 17.4%	14 37.8%	12 32.4%	6 20.7%	3 15.0%	6 22.2%	7 33.3%	2 10.0%
21～30人	33 15.4%	4 17.4%	8 21.6%	6 16.2%	4 13.8%	3 15.0%	1 3.7%	3 14.3%	4 20.0%
31～50人	25 11.7%	2 8.7%	3 8.1%	1 2.7%	7 24.1%	2 10.0%	7 25.9%	1 4.8%	2 10.0%
51人以上	25 11.7%	2 8.7%	3 8.1%	2 5.4%	7 24.1%	1 5.0%	7 25.9%	0 0.0%	3 15.0%
合計	214 100%	23 100%	37 100%	37 100%	29 100%	20 100%	27 100%	21 100%	20 100%

3. 調査結果

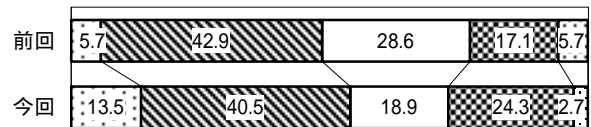
(1) 受注量について



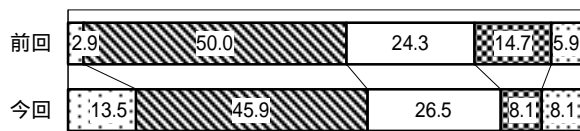
鉄鋼・非鉄



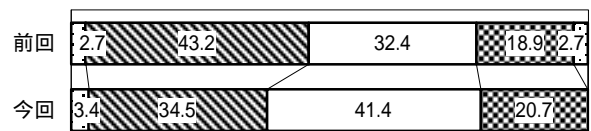
金属製品



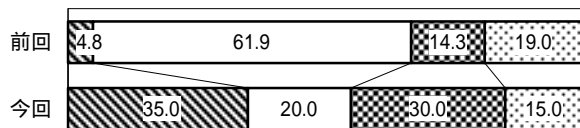
一般機器



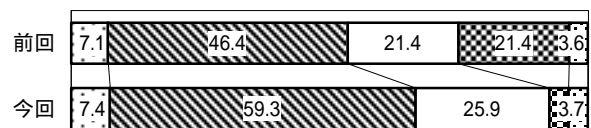
電気機器



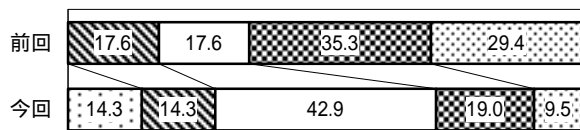
輸送用機器



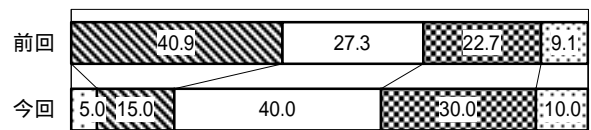
精密機器



縫製

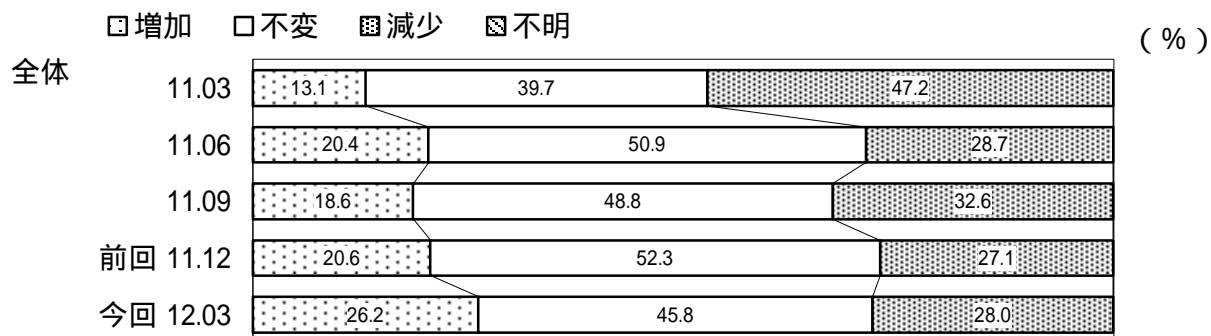


樹脂製品

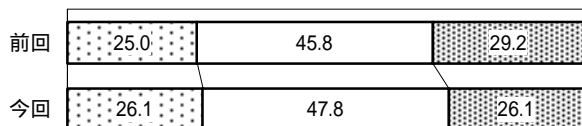


- 全体では、「増えた」（増加又はやや増加）とする企業が46.4%で前回調査と比較して5.9ポイント増加し、「減った」（減少又はやや減少）とする企業は24.3%で逆に前回調査と比較して3.7ポイント減っており、順調な回復傾向がみられる。
- 業種別では、輸送用機器、樹脂製品で「減った」とする企業が「増えた」とす

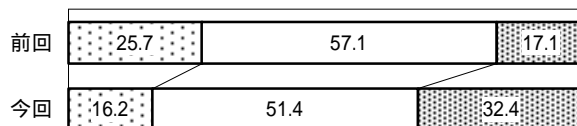
(2) 受注量の見通しについて



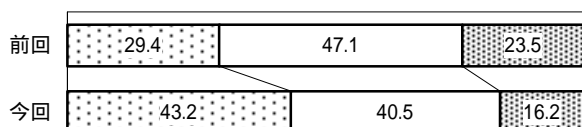
鉄鋼・非鉄



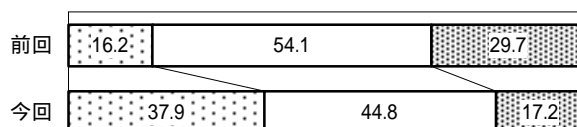
金属製品



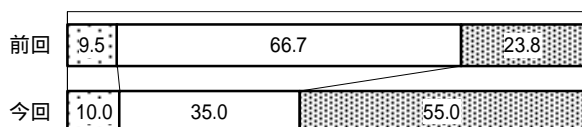
一般機器



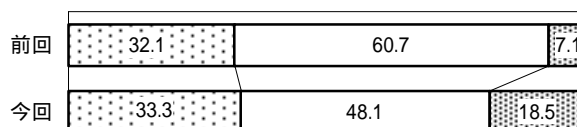
電気機器



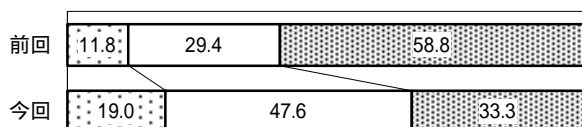
輸送用機器



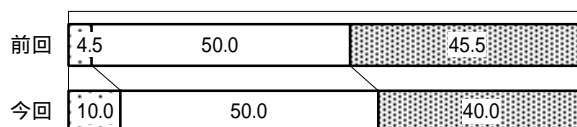
精密機器



縫製

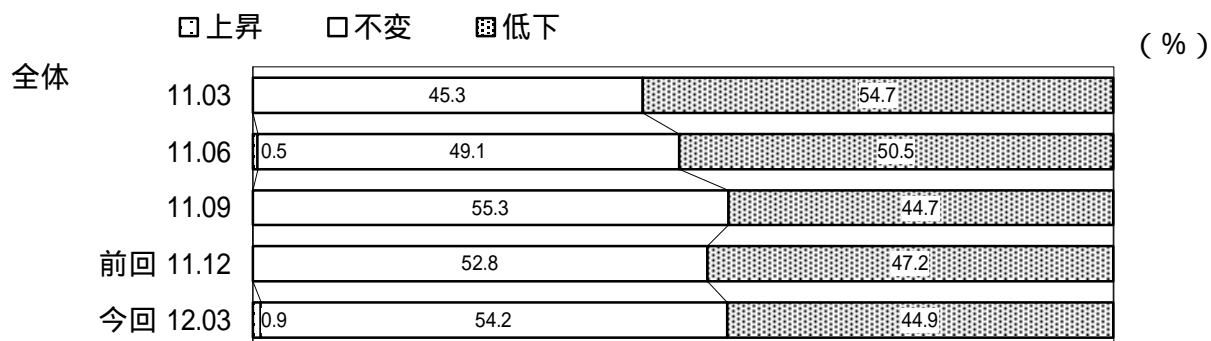


樹脂製品

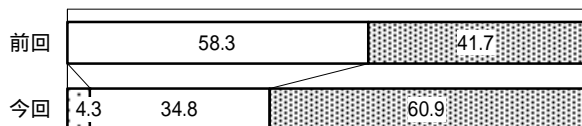


- ・ 全体では、「増加」とする企業が26.2%で前回調査に比べて5.6ポイント増加し、「減少」とする企業が28.0%で0.9ポイント増加しており、回復傾向にあるものの、将来に対する不透明感から慎重な見通しとなっている。
- ・ 業種別では、輸送用機器、金属製品で厳しい見通しとなっており、特に輸送用機器で「増加」とする企業が10.0%で前回調査と比べて0.5ポイント増加しているが、「減少」とする企業が55.0%で31.2ポイントと大幅に増加しており、先行きが厳しい見通しとなっている。

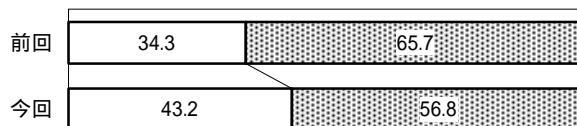
(3) 受注単価について



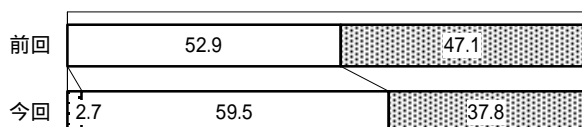
鉄鋼・非鉄



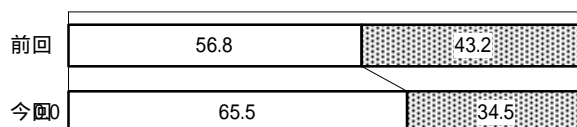
金属製品



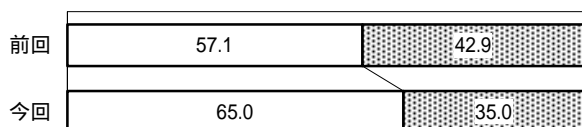
一般機器



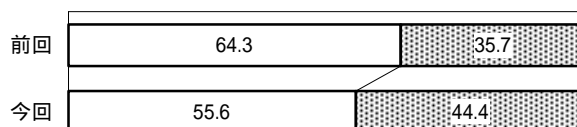
電気機器



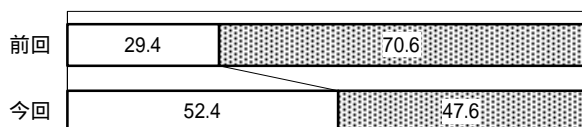
輸送用機器



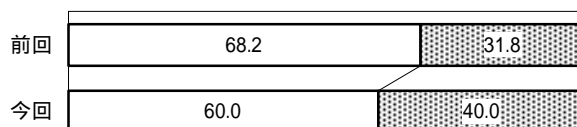
精密機器



縫製

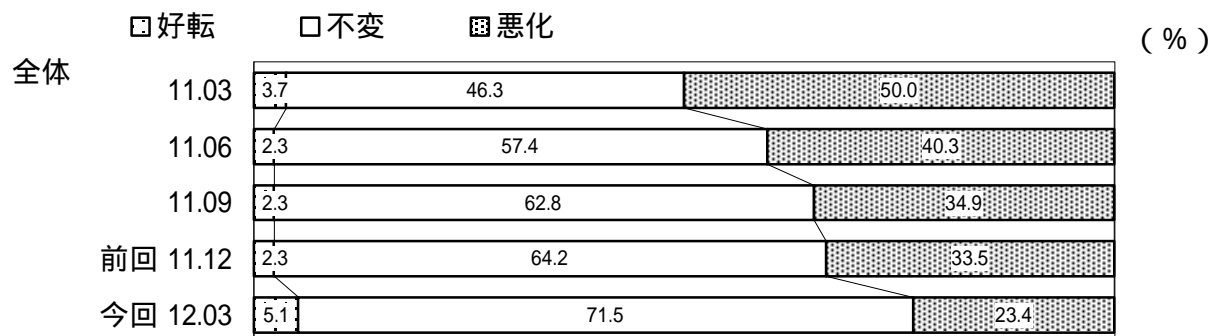


樹脂製品

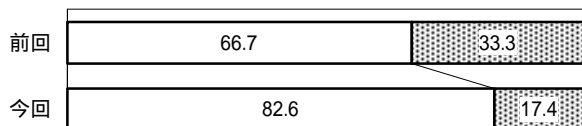


- ・ 全体では、「上昇」とする企業は0.9%しかみられず、「低下」とする企業が44.9%で半数近くを占めているが、前回調査に比べると2.3ポイント減少しており、受注単価の低下傾向に若干の改善の兆しが見られる。
- ・ 業種別では、鉄鋼・非鉄が特に厳しい状況で、6割以上の企業が「低下」としており、精密機器、樹脂製品でも低下傾向が見られる。

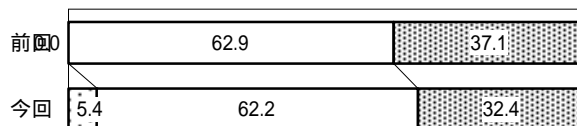
(4) 資金繰りについて



鉄鋼・非鉄



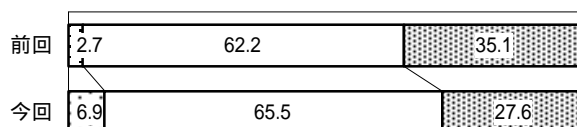
金属製品



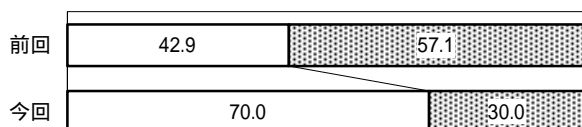
一般機器



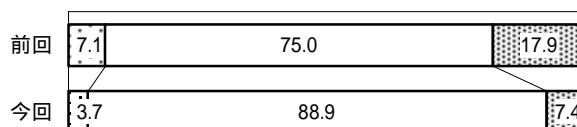
電気機器



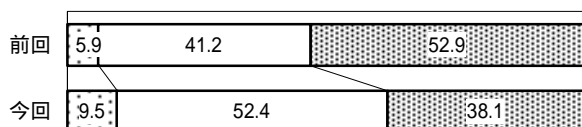
輸送用機器



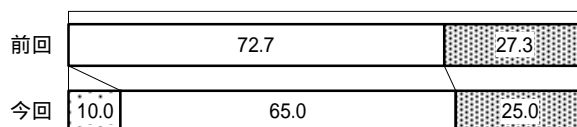
精密機器



縫製

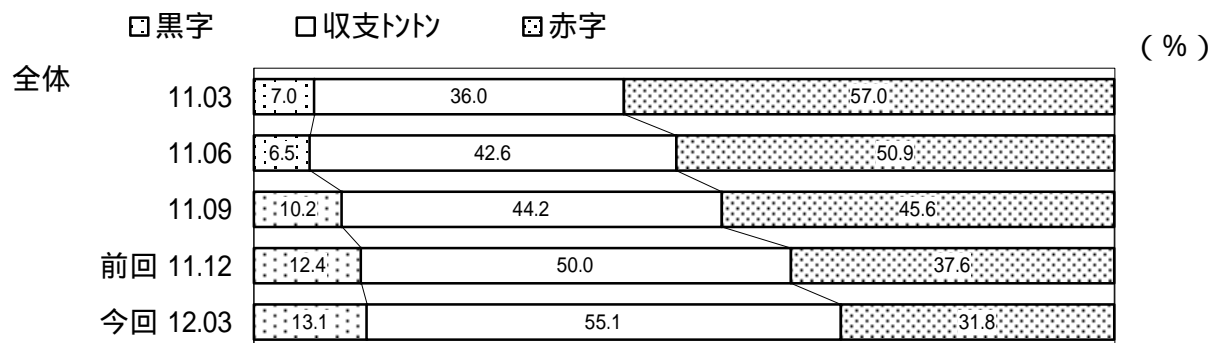


樹脂製品

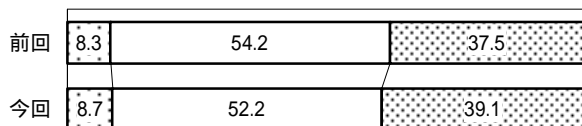


- ・ 全体では、「好転」とする企業5.1%（11社）、「悪化」とする企業が23.4%で前回調査に比べて10.1ポイント減少しており、好転の傾向が見られるものの、不変とする企業が7割以上を占めており、依然厳しい状況がうかがわれる。
- ・ 業種別に見ても、各業種とも好転の傾向が見られるが、金属製品、縫製では「悪化」が30%を超えており、業種間格差が見られる。

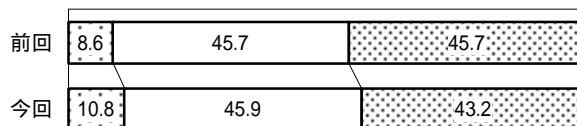
(5) 採算状況について



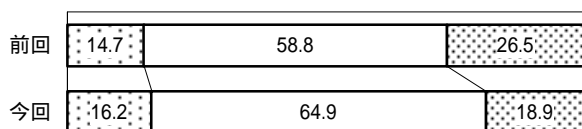
鉄鋼・非鉄



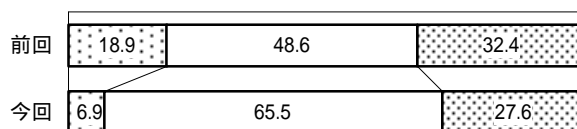
金属製品



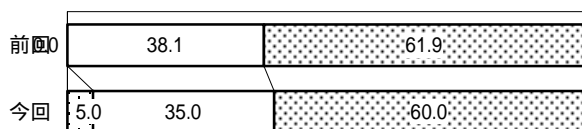
一般機器



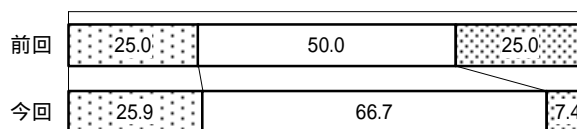
電気機器



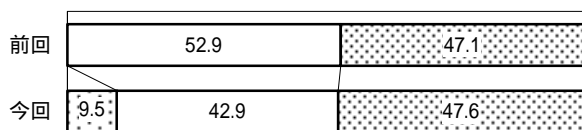
輸送用機器



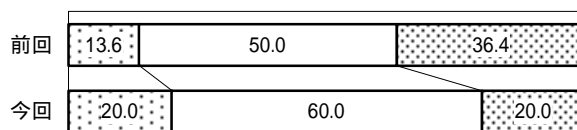
精密機器



縫製

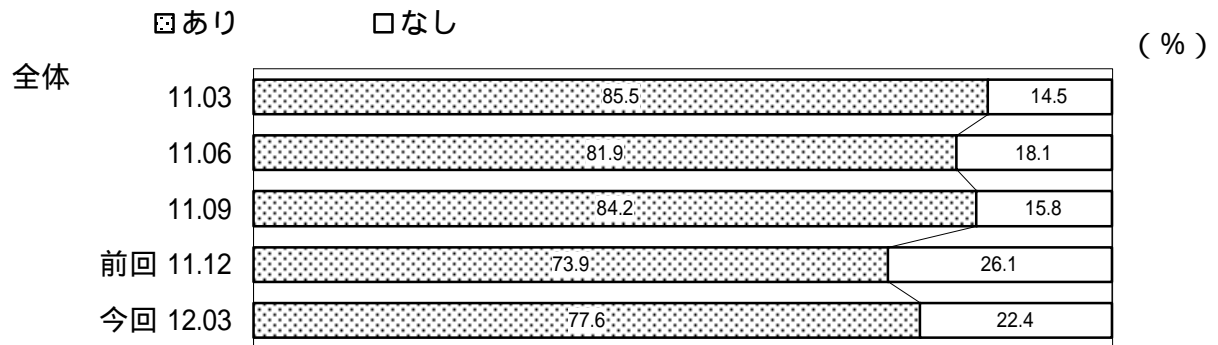


樹脂製品

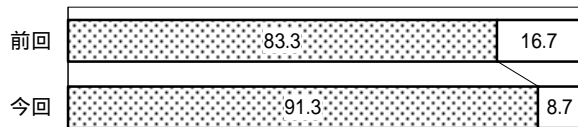


- ・ 全体では、「黒字」とする企業は13.1%で前回調査に比べて小幅ながら0.7ポイント増加しており、「赤字」とする企業は31.8%で5.8ポイント減少し、若干の改善傾向がみられる。
- ・ 業種別では、受注量が比較的好調な精密機器で「赤字」が7.4%と少ないが、輸送用機器で60.0%が「赤字」としており、業種間格差が大きい。

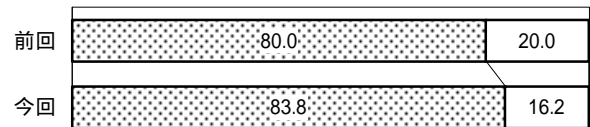
(6) 受注余力について



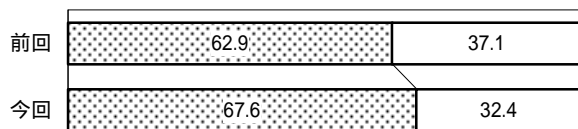
鉄鋼・非鉄



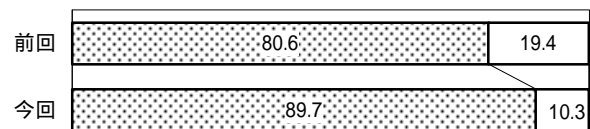
金属製品



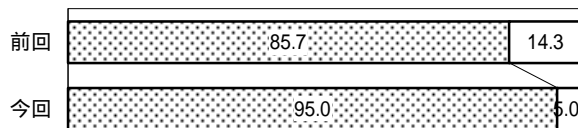
一般機器



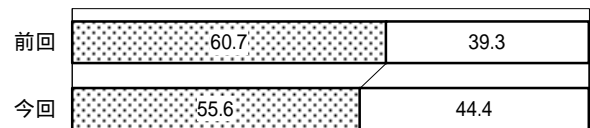
電気機器



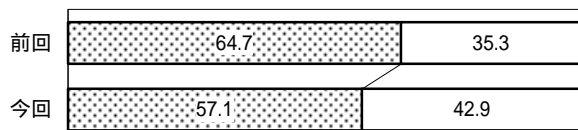
輸送用機器



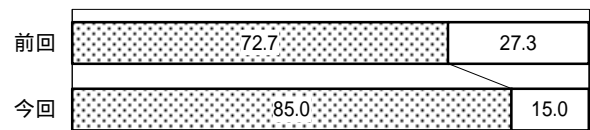
精密機器



縫製



樹脂製品



- ・ 全体では、余力「あり」とする企業が77.6%と大半の企業で受注余力を残しており、前回調査に比べて3.7ポイント増えている。受注量が回復傾向にあるものの、量的には十分確保されていないことがうかがわれる。
- ・ 業種別でみると、輸送用機器、鉄鋼・非鉄の業種で9割以上の企業が余力を残している。